

# 精神看護実習 評価表

実習場所(                      病院 )    実習期間:令和    年    月    日(    )

G 学籍番号

氏名

目 標	評 価 項 目	学 生 評 価	教 員 評 価
知 識	1. 精神看護の特徴を理解する	1) 対象を取り巻く環境について理解し、記述できる	4・3・2・1・0
		2) 対象の権利擁護や行動制限の実際について理解し、記述できる	4・3・2・1・0
		3) 精神科病棟特有の看護について理解し、記述できる	4・3・2・1・0
		4) 入院中のリスクマネジメントについて理解し、記述できる	4・3・2・1・0
	2. 精神に障害を持つ対象を理解する	5) 事前学習から、成育歴・生活歴・発達段階を発症と関連させて、考え、記述できる	4・3・2・1・0
		6) 既往歴や現在の病状・精神状態が日常生活に与える影響を記述できる	4・3・2・1・0
		7) 対象が自分の病気についてどのようにおもっているか記述できる	4・3・2・1・0
		8) 対象が疾患に関連した症状を観察し、記述できる	4・3・2・1・0
		9) 事前学習から、対象が受けている治療や看護の必要性を理解し、考察が記述できる	4・3・2・1・0
		10) 情報収集したものを整理・統合・関連性を記述できる	4・3・2・1・0
	3. 社会復帰するための看護の役割を理解する	11) 情報から根拠に基づいた考察から、看護問題を抽出できる	4・3・2・1・0
		12) 看護問題から、期待される成果を記述できる	4・3・2・1・0
13) 対象の心理状態を考え適切に接し、反応を記述できる		4・3・2・1・0	
14) 対象とその家族が社会復帰をどのように受け止めているか知り、記述できる		4・3・2・1・0	
15) 社会資源の現状を理解し、多職種の役割を理解し、連携の実際を記述できる		4・3・2・1・0	
16) デイケア活動の目的と効果を記述できる		4・3・2・1・0	
技 術	4. 対象に必要な日常生活援助を実践し、評価・修正することができる	17) 対象に必要な日常生活援助を抽出し、計画立案できる	4・3・2・1・0
		18) 対象に必要な日常生活援助の安全・安楽を考えて実践し、記述できる	4・3・2・1・0
		19) 実践を、根拠に基づいて評価・考察することができる	4・3・2・1・0
	5. 対象と看護師との援助関係の構築と治療的関わりについて理解できる	20) 意図的コミュニケーションを理解し、実践できる	4・3・2・1・0
		21) 信頼関係を築くための関りができる	4・3・2・1・0
		22) プロセスレコードや対象との関りを通して、自己の感情や行動特性について振り返り、今後活かして行く方向性が記述できる	4・3・2・1・0
態 度	6. 看護師として相応しい態度が身につくことができる	23) 信頼関係を築くための関りができる	2・1・0
		24) 適切な時期に、連絡・報告・相談ができる	2・1・0
		25) 時間と規則を守ることができる	2・1・0
		26) 挨拶ができ、学生として適切な行動と言葉遣いができ、他者からの評価の受け入れ、振り返りができる	2・1・0
	7. グループメンバーと協力できる	27) グループメンバーと情報・意見交換を積極的にできる	2・1・0
28) リーダーシップ、メンバーシップの行動ができる		2・1・0	

日時/理由

実習評価点

点/100点

点

遅刻	回		学生評価		
早退	回		教員評価		
欠席	回				

評価基準

【1～22項目】

4: 指導なしでできる    3: 指導にておおむねできる  
2: 指導にて半分程度できる    1: 指導にて一部できる    0: できない

【23～28項目】

2: 積極的にできる    1: 指導後にできる    0: できない

学生サイン

教員サイン